

各位

会社名 モーニングスター株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 JASDAQ)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 取締役管理部長 小川 和久

2020年3月期通期連結業績と前期実績との増収となる差異に関するお知らせ

本日付「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期連結業績につきまして、連結売上高が拡大したことにより前期実績との増収となる差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)通期連結業績と前期実績値との増収となる差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前期実績(A) (2019年3月期)	6,004	1,647	1,777	1,220	14円74銭
当期実績(B) (2020年3月期)	6,814	1,541	1,858	1,230	14円85銭
増減額(B-A)	810	△105	81	10	—
増減率(%)	13.5%	△6.4%	4.6%	0.8%	—

2. 差異の理由について

当社グループのアセットマネジメント事業は、従来、SBIアセットマネジメント株式会社による国内における公募追加型株式投資信託の運営が中心でしたが、2019年2月に、米国において私募の債券型ファンドを中心に運用しているCarret Asset Management LLCを子会社とし、2019年12月に、主として、地域金融機関の自己資金を受託する私募の債券型投資信託を運用するSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社を子会社といたしました。

これにより、運用する投資信託の種類・範囲と残高が拡大し、グローバル・アセット・アロケーションの進展に対応し、損益の安定、拡大を図ることが可能となりました。

その結果、Carret Asset Management LLCの12ヶ月の信託報酬、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社の3ヶ月間の信託報酬が当期の連結売上高に加わり、適時開示基準(10%)を超える前期実績値との増収となる差異が生じました。

次期におきましては、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社は、優良な私募の債券型投資信託を提供することで、地域金融機関から受託する運用残高の拡大に伴い売上が増加していく見込です。また、連結する期間が1年間すべてとなることから(2020年3月期は3ヶ月間)、当社の連結売上、利益に大きく貢献するものと考えております。

以上

【本件に関するお問い合わせ】**

モーニングスター株式会社：<http://www.morningstar.co.jp/> 管理部

電話：03(6229)0810 ファクシミリ：03-3589-7963 メール：mstar@morningstar.co.jp